

大福研発第 193 号
令和 7 年 7 月 31 日

各 位

大分県社会福祉介護研修センター
所 長 伊 東 雅 人
(公印省略)

令和 7 年度「高齢者福祉施設相談職員研修会」の開催について（通知）

当センター事業の推進につきましては、平素からご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、標記研修会を別添要綱により開催しますので、対象職員の参加についてご配慮賜りますようお願い申し上げます。

大分県社会福祉介護研修センター 社会福祉研修部 担当 後藤・志水 TEL : 097-552-6888 FAX : 097-552-6868
--

令和7年度 高齢者福祉施設相談職員研修会

開催要綱(案)

- 1 目的 高齢者福祉施設・事業所における支援に必要な専門知識や技術について習得し、相談援助業務に携わる職員としての資質向上を図ることを目的に開催します。
- 2 主催 大分県社会福祉介護研修センター
- 3 開催日時 令和7年10月22日(水) 9:55～15:00
- 4 会場 大分県社会福祉介護研修センター 3階 大ホール
〒870-0161 大分市明野東3丁目4番1号
TEL 097-552-6888・FAX 097-552-6868
- 5 対象者 高齢者福祉施設・事業所において相談援助業務に従事する職員
- 6 定員 60名
※先着順で定員に達し次第、締め切らせていただきますので、あらかじめご了承ください。
※定員に達した場合は、当センターホームページ上でお知らせします。
- 7 資料代 1人 1,000円
※受付時に現金でお支払いください。(おつりのないようにご用意ください。)
※事前連絡なしでの欠席は、原則として資料代をご負担いただきます。
- 8 受講申込 (1)【申込締切】令和7年10月8日(水)
(2)【申込方法】Googleフォームに必要事項を入力し、お申し込みください。
下記QRコード又はURLからも入力画面に進むことができます。

<https://forms.gle/XwrLGimmbXdAEUfV7>



※送信ボタンを押した後、回答のコピーが指定アドレスに届きます。

回答のコピーをもって受講決定に代えさせていただきます。

回答のコピーのメールが届かない場合はお手数ですがご連絡ください。

(3) 受講キャンセルや当日の遅刻、欠席については必ずご連絡ください。

(4) 受講者に関する個人情報、受講者名簿の作成等研修会に関する目的にのみ使用し、他の目的で使用することはありません。

9 研修日程 別紙参照

- 10 講 師 株式会社STU 代表取締役
危機管理コンサルタント
1 秒護身術トレーナー 皆川 博伸 氏

【プロフィール】

FBIやSWAT部隊も採用する護身格闘術を『女性をはじめ、誰にでもできる』ように簡略化。一般向けの護身術セミナーはもちろん、企業や医療機関など、暴力行為に悩むサービス業スタッフに指導している。

また、防犯設備のプロ、防犯設備士資格を持ち、ハード・ソフトの両面から防犯のアドバイスをおこなう九州唯一の専門家でもある。

- 11 その他
- (1) 昼食は各自でご用意ください。
なお、研修会当日、会場で業者が弁当（700円税込）の予約を受け付けていますので、ご希望の方はお申し込みください。
 - (2) 研修会場は、空調管理に努めていますが、体感温度には個人差がありますので温度調整のできる服装でお越しください。
 - (3) 高齢者等重症化リスクが高い方が利用する施設等の職員が受講する研修会であることから、マスクの着用や換気など基本的感染防止対策にご協力をお願いします。
 - (4) 発熱や風邪などの症状、強いだるさや息苦しさなど体調不良の場合は受講をお控えください。
 - (5) 感染症や自然災害等の状況により研修会の開催が困難であると判断したときは、急遽、日程変更等の対応をとる場合があります。
その際は、当センターホームページにてお知らせします。
 - (6) 会場周辺の坂道や信号機のない交差点において交通事故が多発していますので、交差点での一旦停止や左右の安全確認を徹底してください。

12 申込先・お問い合わせ先

大分県社会福祉介護研修センター 社会福祉研修部 [担当：後藤・志水]
〒870-0161 大分市明野東3丁目4番1号
TEL：097-552-6888・FAX：097-552-6868 E-mail：s-goto@okk.or.jp

(別 紙) 研修プログラム

時 間	研 修 内 容	研修のねらい
9:30	受 付	
9:55	開 会 ・ オリエンテーション	
10:00	●講 義 ・ 演 習 「カスハラ・不適切行為リスク対応 ～職員の安全を守る職場づくり～（仮）」 【講 師】 株式会社STU 代表取締役 危機管理コンサルタント 1秒護身術トレーナー 皆川 博伸 氏 (内 容) 「カスタマーハラスメント等のリスクに対応する職員個人のマインドと対応力」 ○そもそもカスハラとは？ ○カスハラ加害者の傾向とターゲットになりやすい人の特徴 ○恐怖心の正体と恐怖心が招く不適切対応 ○恐怖心克服の考え方と行動	人は恐怖を感じると、その状況から一刻も早く逃れたいという心理が働きます。また、恐怖や困惑を相手に悟られてしまうと、ますます状況は悪化し、誤った判断や不適切対応の原因ともなります。 午前の部では、恐怖心を正しくコントロールし、毅然とした対応を身につけるためのベースをつくることでカスタマーハラスメントや事故など高齢者福祉施設・事業所を取り巻く様々なリスクの防止を図っていきます。
12:00	昼 食 ・ 休 憩	
13:00	(内 容) 「組織としてのリスクマネジメントとクライシスマネジメント」 ○リスクが顕在化する組織の共通点 ○組織に蔓延するアンコンシャスバイアス（正常性バイアスなど） ○カスハラにおけるアンコンシャスバイアスの克服 ○不審者対応におけるアンコンシャスバイアスの克服 ○不審者リスクが顕在化したときの初動対応と護身術 ※護身術・・・周囲の犯罪や災害などから自分や他人の生命・身体を守るための知識や技術、方法など	午後の部では、暴力・暴言・不審者リスクが発生するメカニズムの理解と不審者を想定した護身術の演習を通して、組織全体で取り組むべきポイントについて実践的に考えていきます。
15:00	事務連絡 ・ 閉 会	

※進捗状況により、若干の内容修正、変更を行う場合があります。

※講義の間には、適時休憩及び昼食（12:00～13:00:予定）の時間をとります。